

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1247
施設名	阿佐ヶ谷たいよう
施設所在地	東京都杉並区阿佐谷南1-48-5み空ビル
法人名	社会福祉法人まあれ愛恵会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然体験

<テーマの設定理由>

- ・自然の中での活動の経験を通して、仲間と協力しながら稲を育てる体験を通し、食べ物の大切さ、恵みへの感謝、先人の知恵を知る。
- ・毎日、口にする米を栽培することで、自然の不思議を体験し、他の身近な植物への興味を持つ。

## 2. 活動スケジュール

- ・田植えを行い、ものづくりの大変さや喜びを感じる（5月）
- ・田の草取り・水生生物探しをする（6月）
- ・稲刈りを保護者の方と一緒に鎌で刈る（9月）
- ・園内研修等用いて職員に活動報告
- ・米の脱穀、精米を行う。（10月～12月）
- ・精米したお米を使っておにぎりをつくる。（12月）

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・バケツ・土（赤玉土・鹿沼土・黒土）・苗・鎌・野球ボール・すり鉢・ドライヤー

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・土に触れる

実際に子どもたち自身が作るバケツ稲の土づくりから子どもたちが行う。様々な感触を味わう。

・観察する

日々の観察を行い、稲の生長を喜ぶ。

・田植え体験を行う

実際の田んぼに入って、苗を田んぼに植える。

・田の草取りを行う

保護者の方と一緒に田の草取りを行い、その後田んぼの中の生き物探しを行う。

・収穫をする

実際に鎌を使って保護者と一緒に稲の収穫を行う。

・米の脱穀・精米

米の脱穀をみなで協力しながら行い、精米にする

・精米にしたお米を使って五平餅を作る

米の柔らかさなど、子どもたち自身が相談しながら作る

・木の剪定の見学

実際に植木屋さんが剪定する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

初めての田んぼに最初は戸惑っていた子どもたちも、保育者や他児の様子を見て、田んぼの中を歩き進め、泥の感触を味わうことができた。泥の冷たさや、ドロドロとした感触を楽しみ、ズボンまで田んぼにつかる子どもも見られた。また、苗を植える際には「お米の赤ちゃんとお弁当だよ」「丁寧に植えるんだよ」「これがお米になるんだよ」と友だちと話し合いながら田植えを行った。稲刈りの際は、かまを使って収穫を楽しんだ。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ 自然体験を通して、食べ物に対するのありがたさや農家の方々の大変さを子どもたち自身で気づく事ができていた。
- ・ 泥や苗、稲に実際に触れ、自然を感じる事ができ、都会で暮らしている中では味わえない体験の中で、子どもたちの新しい学びを深める事ができた。
- ・ お米作りで上手く生長しなかった時に、子どもたち自身で何が原因だったのか、どうしたら上手く育つか考えて育てる事ができた。